

科学ヘジャンプ・イン・京都2011 報告書

自主開催

Jump-to-Science in KYOTO 2011 Report

概要

日程：平成23年11月26日(土) 9時30分～15時30分
会場：京都府立盲学校花ノ坊校地
対象：視覚障害のある小学校5年生以上の小中高生
で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加可能な関東地区の児童・生徒
参加者：24名(小学生5名、中学生11名、高校生8名)
保護者・付添い人：28名
見学者：15名
スタッフ：55名
主催：科学ヘジャンプ・イン・京都実行委員会
後援：全国盲学校長会

- ☆ 3度目となるイベントを自主開催！
- ☆ 地域のスタッフが協力し、自分たちで工夫したワークショップを多数実施

プログラム

9:30～10:00 受付
10:00～10:30 開会の集い
10:40～12:10 ワークショップ、保護者企画 (WS見学)
・コマをまわそう
・森とキノコ
・一筆書き(1周できるかな?)
・ネイチャ・フィーリングー船岡山の成り立ちを考えよう
・触ってみるカイ
・ガスバーナーヘトライ！！
・近道を見つけよう
・がんばろう日本！
12:30～13:30 昼休み・京盲資料室説明 さわる博物館
13:30～15:00 ワークショップ、保護者企画 (交流会)
・宇宙と私たち
・目の授業 一みえるってどういうことー
・なんじゃもんじゃ？くさび形文字から点字へ
・土器・銅鏡・銅鐸の触察
・わくわくどきどきやってみよう パート
・大気圧を感じよう
・三葉虫の化石を調べる
・形でわかる魚の生活
15:10～15:30 閉会式

ガスバーナーヘトライ！！



ネイチャ・フィーリング



わくわくどきどきやってみよう



大気圧を感じよう



森とキノコ



がんばろう日本！



触ってみるカイ



目の授業



感想(生徒)

- ・次回はきかいをつかってなにかしてみたいです。
- ・昨年、科学ヘジャンプで出会った友達とは今もたまに電話で話します。来年もぜひ参加したいです。
- ・とても説明がわかりやすく充実した時間だった。
- ・自分たちはものすごく重い力で押されている中で生活していることを知った。

感想(保護者)

- ・子どもたちがとても興味を持って授業を受けられた。今日は有意義な一日をありがとうございました。
- ・単一障害の保護者と出会うことができ良かったです。これからも続けてほしいです。
- ・いろんな盲学校の先生方の教え方を知ることが出来てとても勉強になった。1つ1つ丁寧に繰り返し教えてくださったのでとても分かりやすかった。もう少し他の知らないお母さん方と知り合える時間を取ってもらえるとありがたかった。
- ・保護者交流会、内田先生、丸谷先生のお話はとても心に響きました。ありがとうございました。
- ・それぞれの小学校の授業も今日のような形式であればもっと理解が深まると思います